

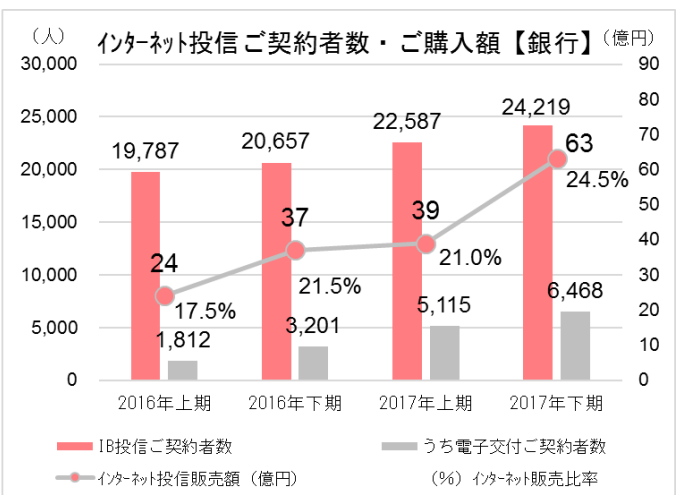
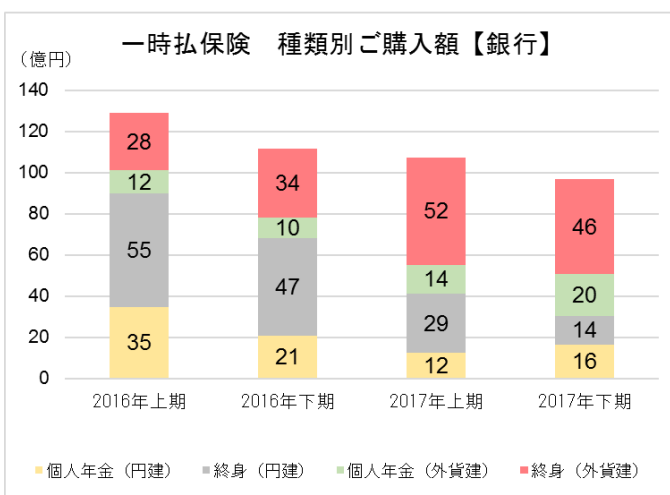
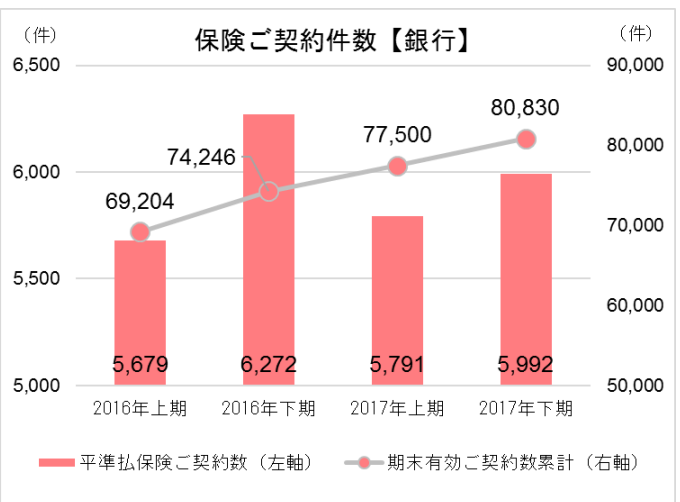
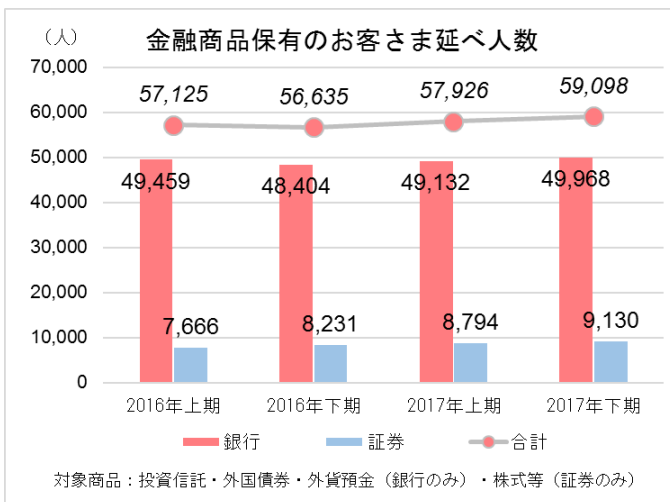
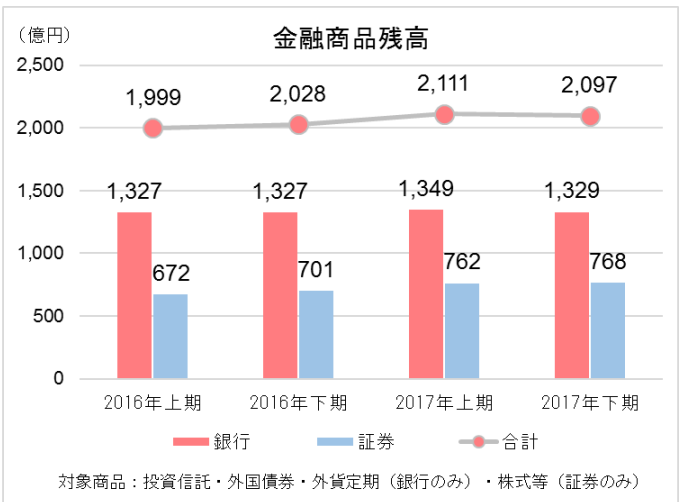
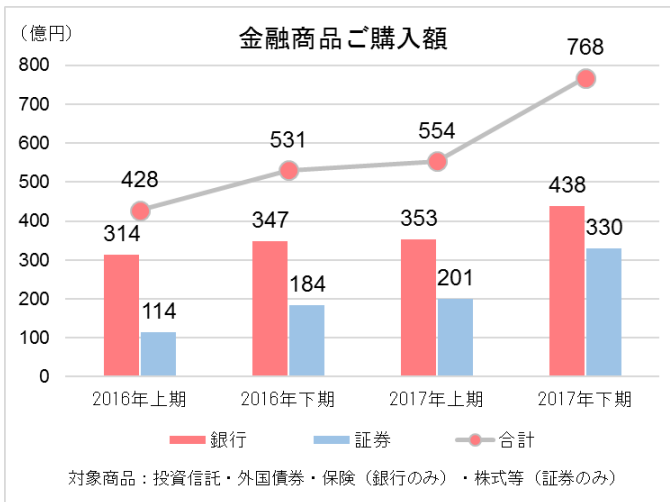
2017年度「お客さま本位の業務運営に係る取組状況」

お客さま本位の徹底

【各種金融商品の販売・残高・保有者数の推移】

お客さまの資産形成に資する商品を幅広くご紹介し、投資信託や保険、外貨預金、株式など多様なニーズにグループ連携して取り組んでいます。

銀行では、利便性の高いインターネット投信の利用が、保険商品では保障性平準払保険や運用性の高い外貨建一時払保険のニーズが高まっています。



商品ラインアップの充実

【取扱商品数と販売上位商品】

幅広い商品ラインアップで、様々なお客さまのニーズにお応えしています。

お客さまの中長期の資産形成に資するファンドのご購入が広がり、効率的な運用が可能な「毎月分配型」以外のファンドの販売・残高が増加しています。

保険商品は、お客さまのニーズに合わせ、貯蓄・運用性の個人年金・終身保険、保障性の医療・がん・傷害保険など、幅広いラインアップでお応えしています。

◆百五銀行

投資信託カテゴリ別ファンド数

国内債券	3	2.3%	国内REIT	2	1.5%	合計 133
内外・海外債券	30	22.6%	内外・海外REIT	4	3.0%	
国内株式	22	16.5%	バランス	43	32.3%	
内外・海外株式	25	18.8%	その他	4	3.0%	

保険カテゴリ別商品数(種類別)

個人年金(一時払)	5	6.9%	定期保険(収入保障含む)	25	34.7%	合計 72
個人年金(平準払)	3	4.2%	医療保険	10	13.9%	
生存保険(一時払)	1	1.4%	がん保険	4	5.6%	
終身保険(一時払)	13	18.1%	傷害保険	1	1.4%	
終身保険(平準払)	5	6.9%	就業不能保険	1	1.4%	
学資保険	1	1.4%	火災保険	3	4.2%	

◆百五証券

投資信託カテゴリ別ファンド数

国内債券	3	1.8%	国内REIT	6	3.6%	合計 166
内外・海外債券	37	22.3%	内外・海外REIT	7	4.2%	
国内株式	25	15.1%	バランス	36	21.7%	
内外・海外株式	48	28.9%	その他	4	2.4%	

2017年度のご購入上位商品

【投資信託】

◆百五銀行

	商品名	投資対象	運用会社
1	ひふみプラス	内外株式	レオスキャピタル
2	日経225ノーロードオープン	国内株式	アセットマネジメントOne
3	SBI中小型割安成長株ファンド(年2回)	国内株式	SBIアセット
4	野村インデックスファンド日経225	国内株式	野村アセット
5	グローバルAIファンド	海外株式	三井住友アセット

◆百五証券

	商品名	投資対象	運用会社
1	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回)	海外株式	日興アセット
2	ひふみプラス	内外株式	レオスキャピタル
3	日経225ノーロードオープン	国内株式	アセットマネジメントOne
4	企業価値成長小型株ファンド	国内株式	アセットマネジメントOne
5	高成長インド・中型株式ファンド	海外株式	三井住友アセット

【一時払保険】※銀行のみ

個人年金(全期前納)・一時払終身(平準払を除く)

	商品名	種類	保険会社
1	やさしさ、つなぐ	終身保険	三井住友海上プライマリー
2	サニーガーデンEX	終身保険	メットライフ
3	たのしみ未来(全期前納のみ)	個人年金保険	住友
4	プレミアプレゼント	終身保険	第一フロンティア
5	生涯プレミアムワールド4	終身保険	T&Dフィナンシャル

【平準払保険】※銀行のみ

個人年金・終身保険

	商品名	種類	保険会社
1	たのしみ未来	個人年金保険	住友
2	こだわり個人年金	個人年金保険	マンライフ
3	ステイゴールド	個人年金保険	三井
4	ふるはーとF	終身保険	住友
5	一生のお守り	終身保険	損保ジャパン日本興亜ひまわり

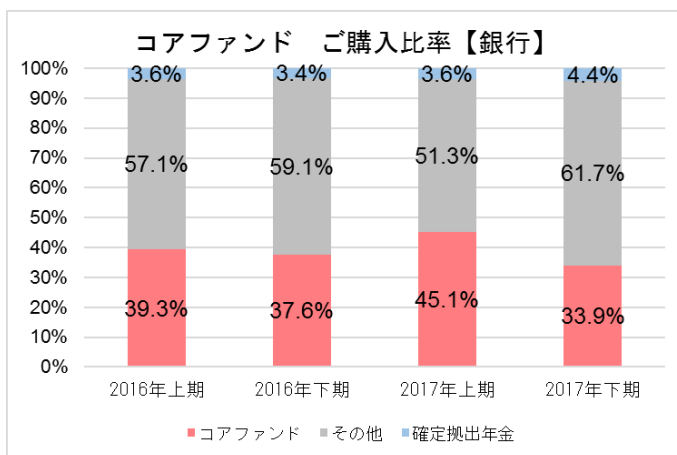
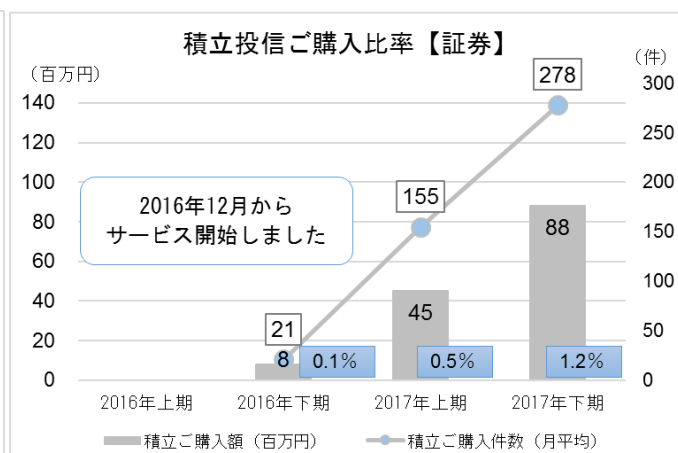
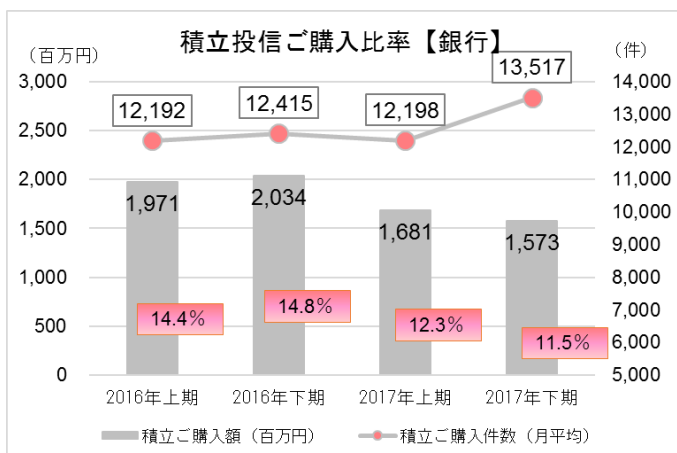
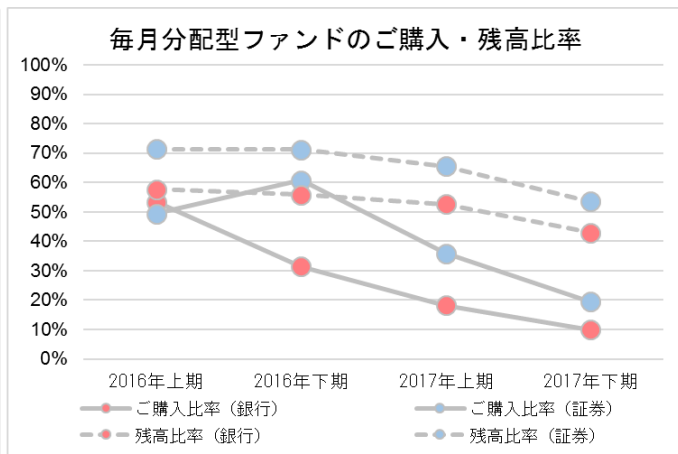
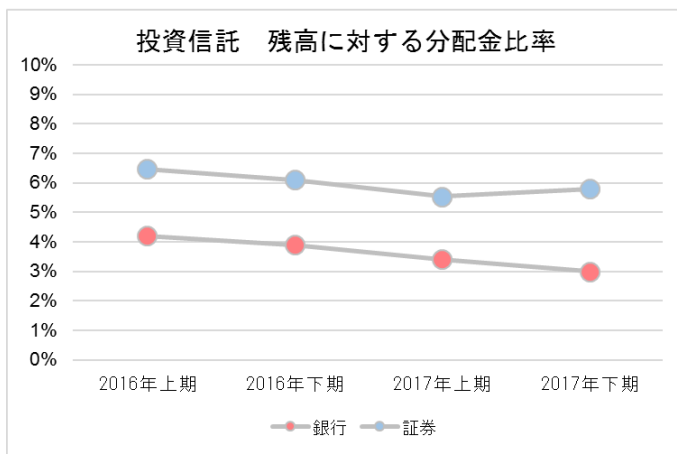
定期・医療・がん・傷害保険

	商品名	種類	保険会社
1	終身ガン治療保険プレミアム	がん保険	チューリッヒ
2	新CURE	医療保険	オリックス
3	新・健康のお守り	医療保険	損保ジャパン日本興亜ひまわり
4	ケガと介護のそなえ	傷害保険	損保ジャパン日本興亜
5	終身医療保険プレミアムDX	医療保険	チューリッヒ

お客さまニーズに合わせたコンサルティング提案

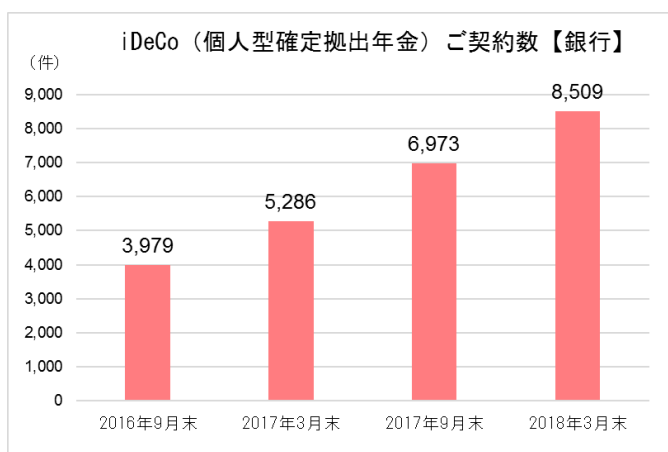
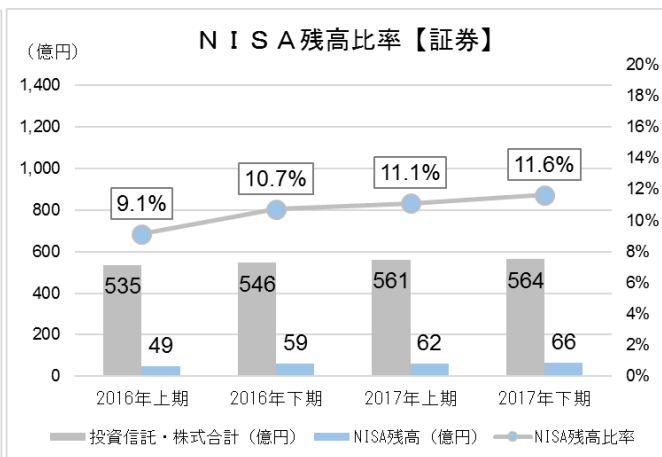
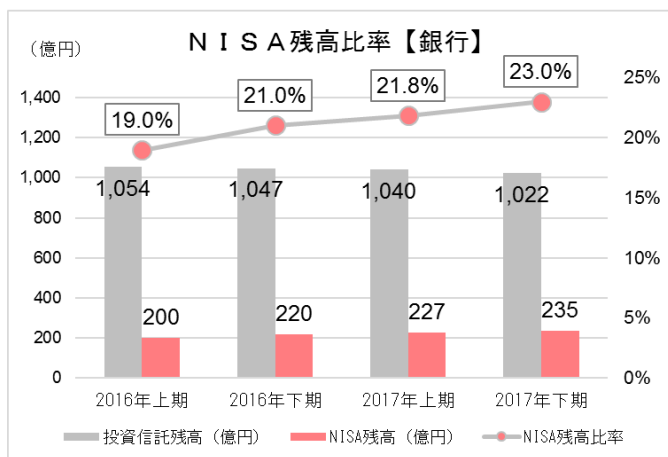
【投資信託を活用した長期・積立・分散投資のご紹介】

- ・銀行・証券ともに、効率的な運用が可能な「毎月分配型」以外のファンドの販売・残高が増加しており、結果として毎月分配型ファンドの販売・残高の比率が低下しています。
- ・資産分散・時間分散投資を活用することで中長期の資産形成に有効な「積立投資信託」もお勧めしています。
- ・銀行では、より安定的な値動きで長期投資に適した「コアファンド」のラインアップを増やし、資産形成への活用を促しています。



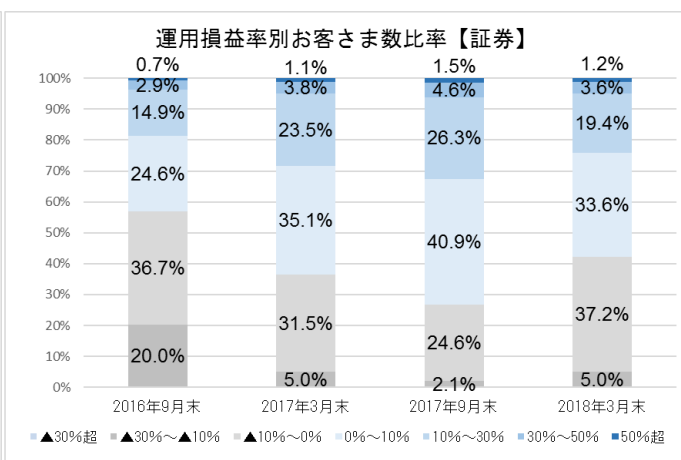
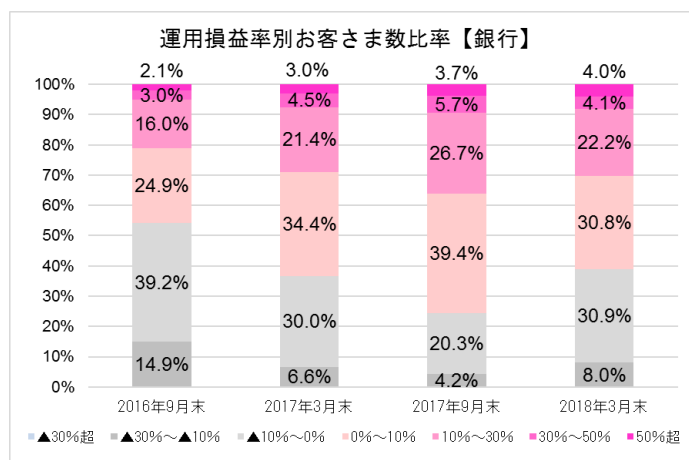
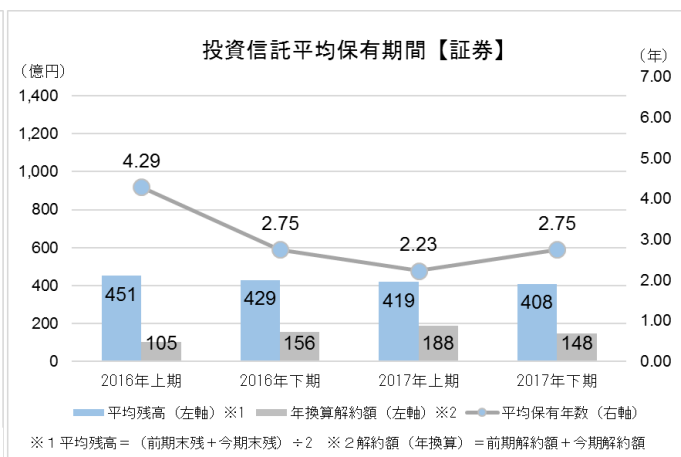
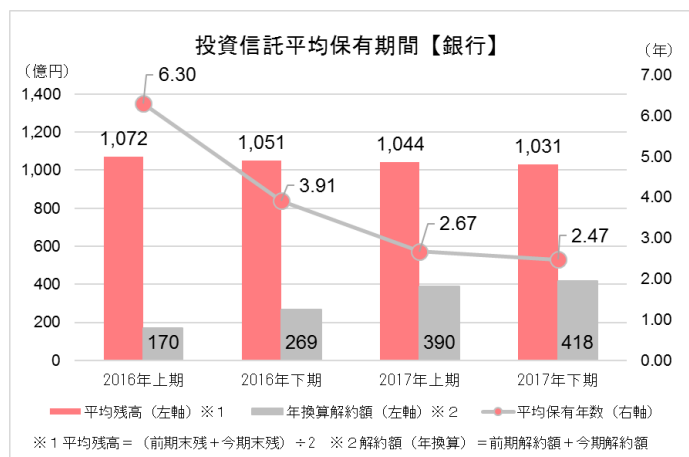
【非課税制度NISAとiDeCoの利用促進】

- ・投資信託を活用した資産形成に有効な『少額投資非課税制度（NISA）』や老後資金の準備に有効な『個人型確定拠出年金（iDeCo）』の利用をご紹介し、多くのお客さまに広がっています。
- ・2018年3月時点でNISAおよびiDeCoをご利用いただいているお客さまは、グループ全体で延べ43,043人です。そのうち長期的な非課税積立投資制度（つみたてNISAおよびiDeCo）をご利用いただいているお客さまは8,745人です。



投資信託をお持ちのお客さまの状況

- お客さまのニーズに合わせたコンサルティング提案と資産分散投資の推奨、お客さまの運用損益を常に把握し、継続的なフォローアップを行っています。
- 保有ファンドの利益確定売却や資産配分の見直しなどによるご解約もお受けしています。近年では相場上昇が目立ち、利益確定のためのご解約が増加傾向にありましたので、平均保有期間は低下基調にあります。
- 中長期の資産形成をお勧めすることにより、極力相場に左右されにくい安定した運用益を享受していただくことを目指しておりますが、相場変動の影響もあり運用損益がプラスのお客さまは、約60%となっています。



お客さまへの情報提供の充実

【お客さま向けセミナー・相談会開催実績】

- 取扱商品の運用状況やマーケット・市場動向をお伝えするとともに、資産形成やライフプランに資する有益な情報をお客さまにお伝えすることにグループ全体で取り組み、各種セミナーや個別アフターフォローを継続的に実施しています。

本部主催の大規模セミナー : 17回

営業店主催の小規模セミナー・相談会 : 1,736回

【販売担当者向け研修実績】

- 販売担当者向けの各種研修も随時実施し、適切な金融サービスを提供できるよう努めています。

マーケット関連研修 : グループ全体で15回(延参加者 515名)

商品知識・専門スキル関連研修 : グループ全体で40回(延参加者 1,019名)

【FP技能士資格・CFP・AFP保有者】

- お客さまへ専門性を持った提案を実践するため、適切な知識・スキルの醸成に努めています。

◆百五銀行

FP技能士1級	185名
FP技能士2級	1,742名
CFP	21名

◆百五証券

FP技能士1級	3名
FP技能士2級	44名
CFP	2名
AFP	5名

<参考>ファイナンシャル・プランナー資格名

FP技能士：厚生労働省が認定する国家資格。

CFP資格：「NPO法人 日本FP協会」が認定する上級資格。世界24か国・地域で認められた世界水準資格。

AFP資格は、CFP資格へのステップとして位置づけられています。

以上